

3つのNGO団体が国連日本政府代表部と
2023年3月に共催した
CSW67 サイド・イベントについて

JAWW主催CSW67報告会
2023年5月22日

担当 国際婦人年連絡会 (紙谷雅子)



第67回国連女性の地位委員会

CSW67

デジタル時代における技術革新と変化，教育

情報へのアクセス，利用

積極的に関与，影響

オンライン固有の悪影響（女性への暴力）

サイド・イベントは 政府機関や国際機関とNGOsとが 一緒にニューヨークの国連で

JAWW（日本女性監視機構）、国連NGO国内女性委員会、国際婦人年連絡会という日本の3つのNGOsは、国連日本政府代表部と共催で、毎年3月に開催されてきたCSWの期間中に、CSWの主要テーマの理解を促し、実現をめざして、この10年余り、サイド・イベントを開催してきました。



デジタル時代の 「エンパワーメント」 鍵は教育

「エンパワーメント」では、人が自立する権限を自ら行使するという意味では、決定と実行、妨害排除だけでなく、その成果を誰もが認める（横取りされない）ことも重要です。

ところで・・・デジタル時代はいつから？

産業革命で出現した伝統的な産業から，情報技術を中心にする経済構造への転換が始まったのは，20世紀半ば

1947年 トランジスタの開発

1970年1月1日00:00:00（世界標準時） コンピュータの時間基準であるUnix Timeは，この時点から「秒」単位で計算（現在はもっと小さい「ナノ秒」単位を使っている）

日本は、全体として理系の学生が少ない・・・らしい
大学進学率も高くはない・・・低学歴国？

(日本の統計は、中等教育の後を「高等教育」と分類するが、他の国は4年制以上の大学だけを「高等教育」というらしい)

大学院進学率は、OECD諸国などと比較すると、明らかに、低い

(日本の大学院の院生のかなりの割合は外国人留学生)

OECD諸国などと比較すると、女性の高等教育機関への進学率が、明らかに、低い

その中でも、デジタル時代に対応する人材を養成する科学Science・技術Technology・工学Engineering・数学Mathematics分野（STEM）でも女性の割合が非常に少ない

女子大学に工学部をつくれば

? STEM分野を専攻する女性は、
それだけで多くなる??

日本における女性の教育環境

1872年には女性のための高等教育機関が開設された

別学であったが・・・

高等教育はpost-secondaryであって、tertiaryではなかった

1946年には完全別学廃止

女性も男性と同じ教育機関に進学が可能になったが・・・

高等教育進学率，専攻分野には顕著な差が存在し続けた

日本における女性の教育環境

1970年代後半から女性の4年制大学進学率は「10%」に

1980年にはその人たちが卒業する

「家事手伝い」でいいのか？

女性を「質の高い労働力」として把握する発言が財界から・・・

日本における女性の教育環境

1985年のCEDAW批准

「質の高い労働力」とは？

デジタル時代に即した数学・統計学を奨励する代わりに
就職する女性を対象とするコース制を新設

女性は恒常的な男性労働に対する補完的存在？

性別役割分担意識を反映する行動規範を（それでも）維持

専攻分野別に、大学学部の女性比率を見ると、

図 1 大学学部における専攻分野別女性比率 (%)

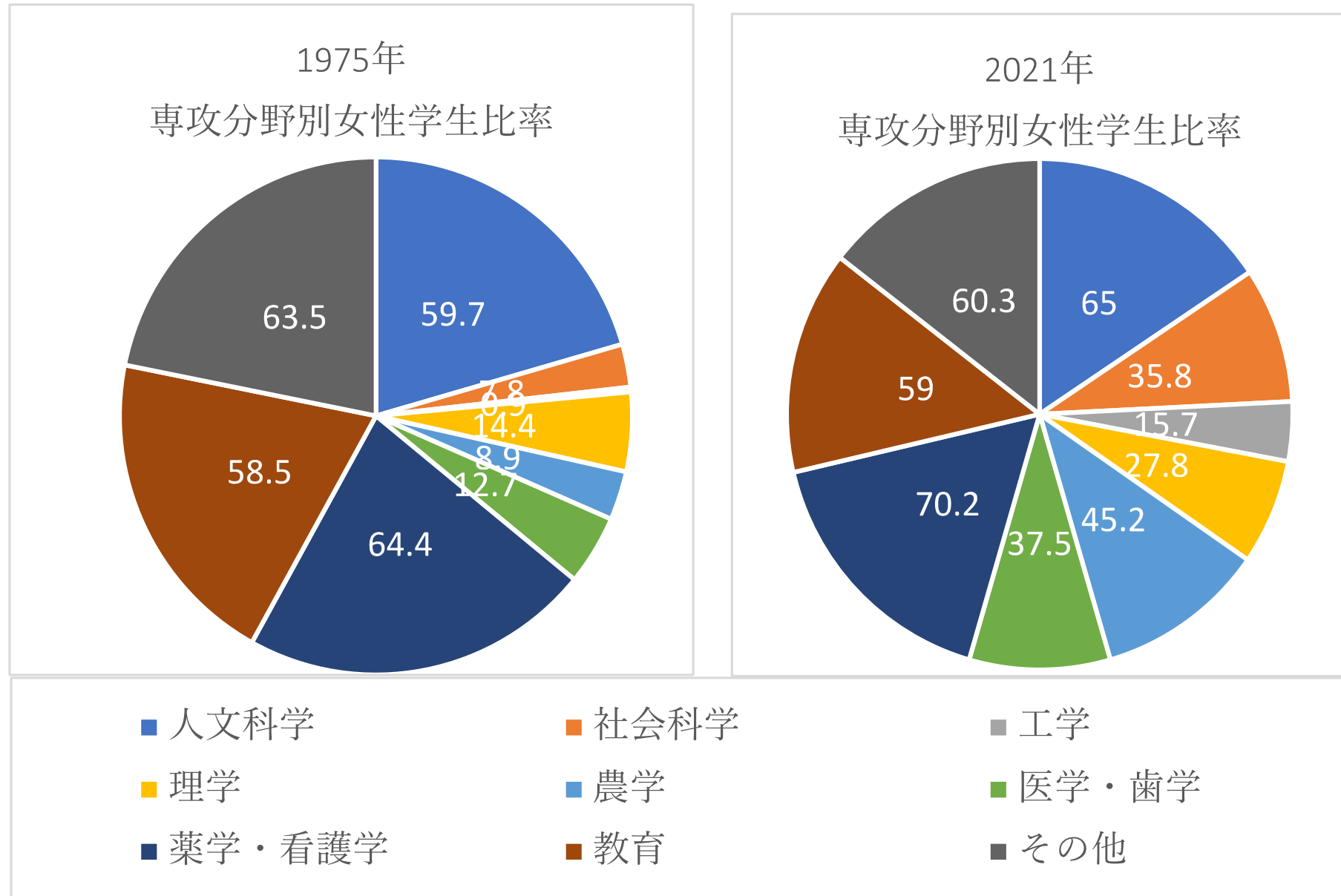
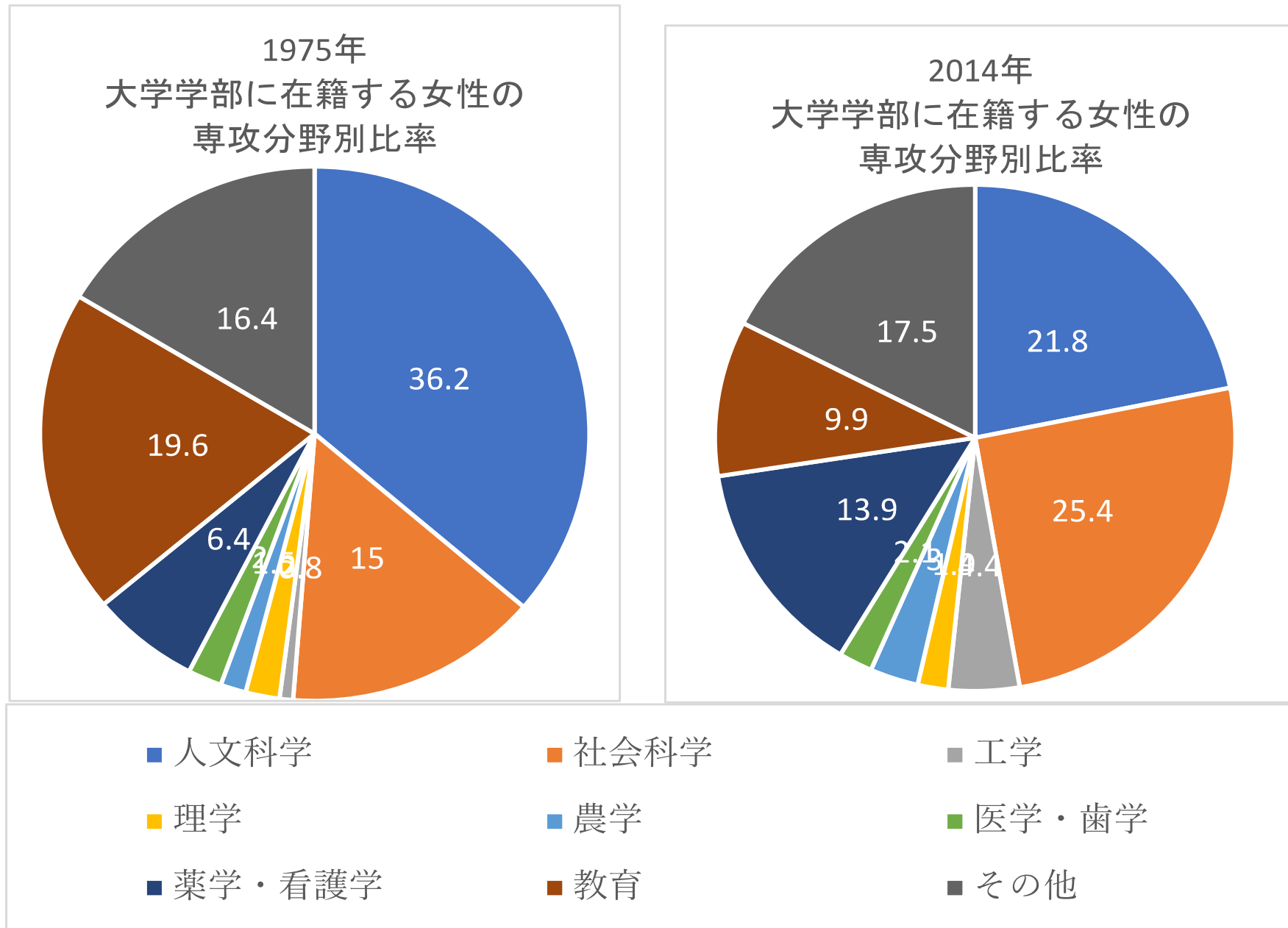


図 2 大学生となった女性たちの専攻分野別比率 (%)



日本における女性の教育環境

(女性だけではないが) STEM教育が不十分
デジタル時代に対応する人材が全体として不足

2020年代, 日本政府は, 国立・私立の女子大学に工学部を設立し, 既存の理系学部に対して「女性枠」設定を促すなど・・・女性教員と学生の割合を増加させるという政策を採用

社会における「STEMは女性に向かない」という偏見の是正に努めている?





女子大学の工学部は
女性の「可能性」, 「選択肢」を見えやすくする？

生徒たちに対する親の世代の影響力は大きい

「社会風土」に内在する思い込みや不安を
払拭できるとの「期待」

でも・・・女性向けの工学部？という議論も？



デジタル時代

NGOは、その一歩先を行く

WAFFLEは

中学生・高校生・大学生に働きかけ

IT業界のジェンダー・ギャップ解消を
目指し



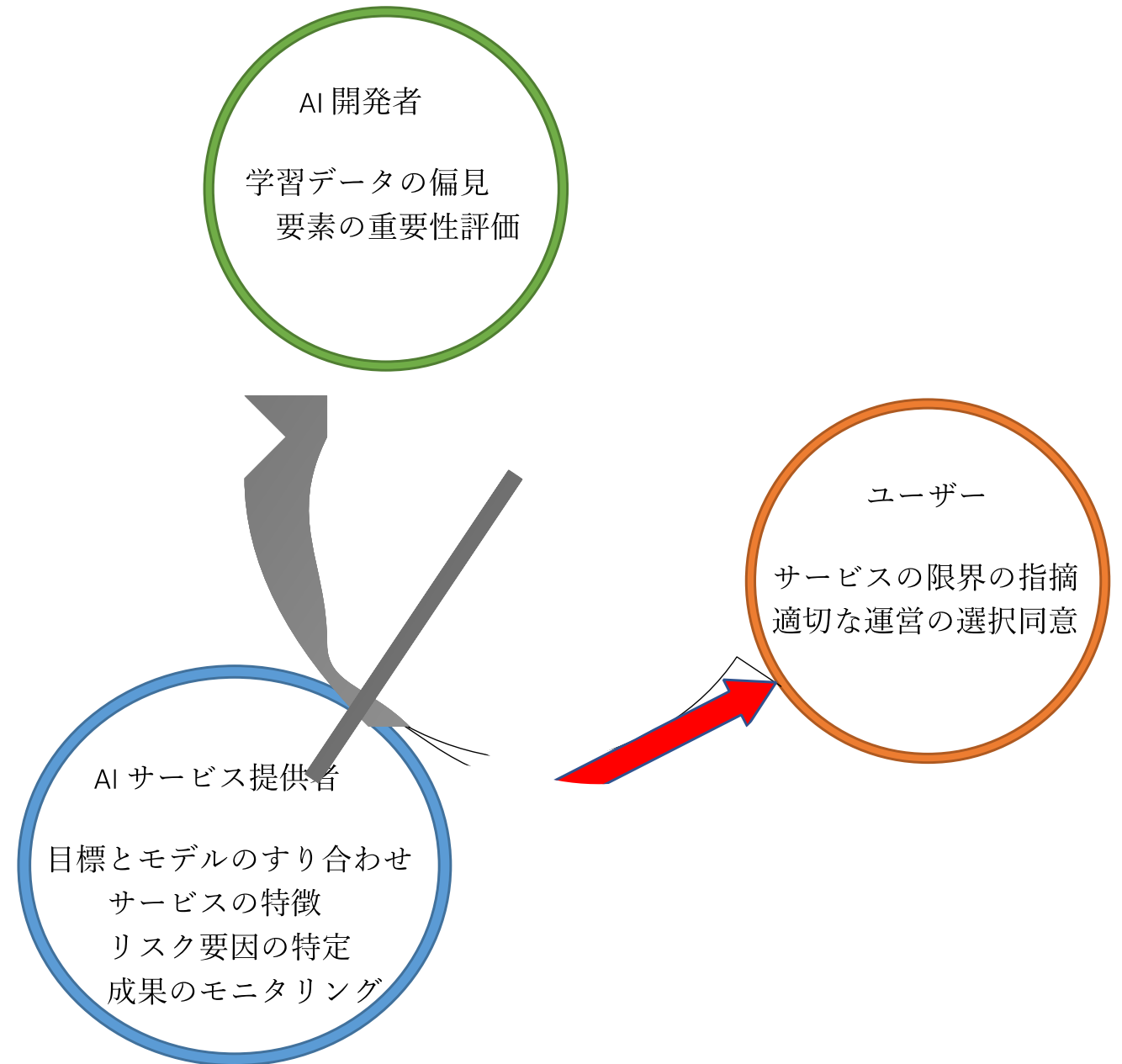
Public Policy

Gender equality requires structural change

政府に
社会構造の変革政策を提案

信頼できるAIを 実現するには

実現すべき目標を共有する
開発者とサービス提供者と
ユーザーが協力してリスク要
因を減らす





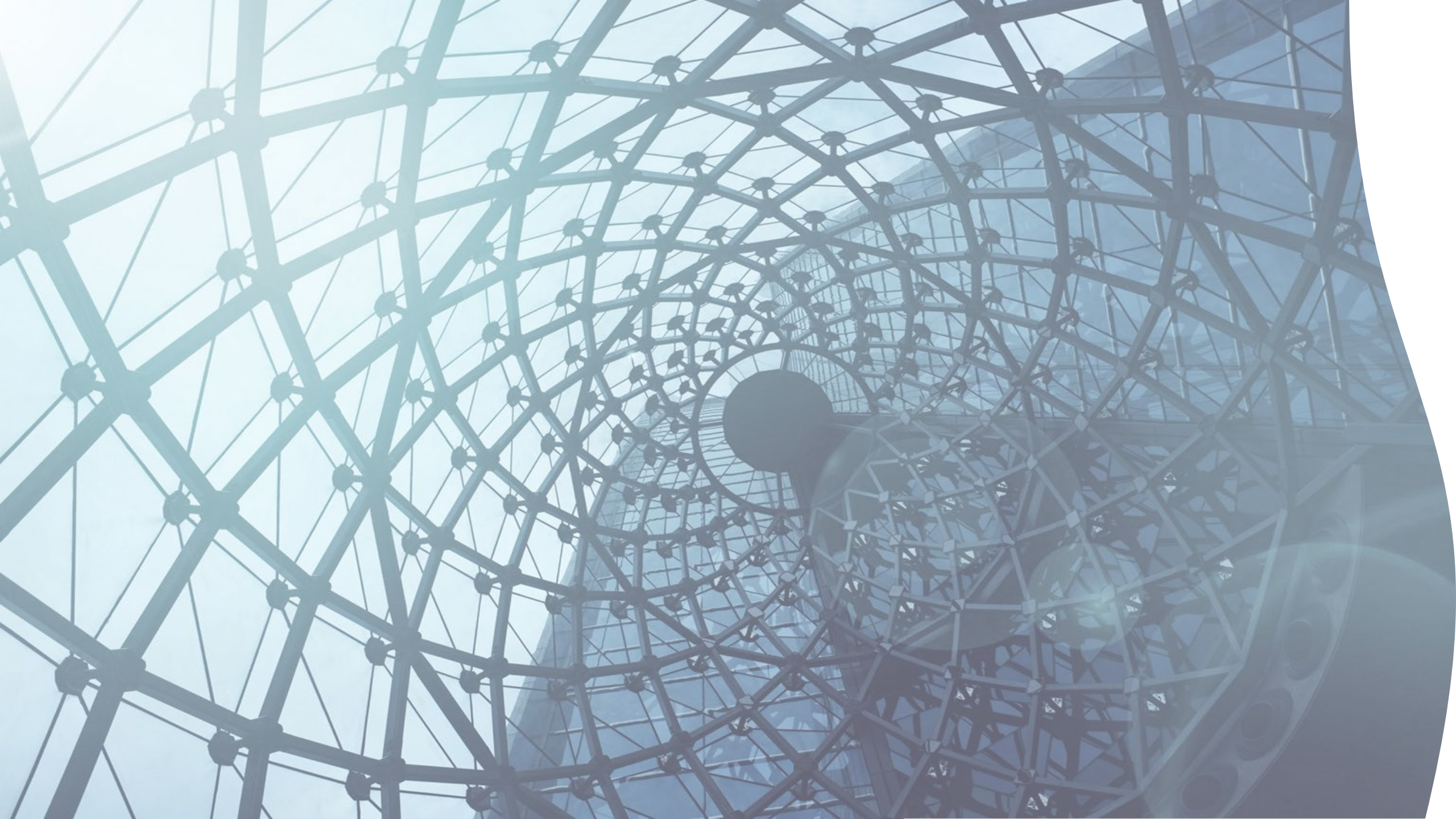
デジタル変容は、

中学生・高校生・大学生に働きかけ
スキルの上達だけではなく、自分の能力を開発

デジタルでチェックして既存の偏見を克服

教育の価値を再認識

デジタル変容と技術革新、デジタル時代の教育は、
社会の大転換をもたらす



デジタル時代における社会の大転換は

- 普遍性に組み込まれた男性性
- ジェンダー・ステレオタイプの発想
- 経済的精神的依存
- 権威主義

にジェンダーの視点から疑問を提起し

- 経済的自立
- 無償労働の共同分担
- 人権
- 民主主義

の実現をめざす

どこでも，いつでも，本当に必要なのは
．．．

社会が平等についての基本的な考え方を
みんなが広く共有

ジェンダーやセクシュアリティだけでなく
国籍や民族・人種，考え方や暮らし方
さまざまな「他の人と違うこと」があっても
それでも，人として「平等」

Transforming Innovation and Technology to Empower Women and Girls:

Is Establishing New Faculties of Engineering at Women's Universities the Panacea for Gender Equality?

ご清聴, ありがとうございます！

